社会資本総合整備計画の進捗状況

1.1　社会資本整備総合交付金と名古屋港の整備計画

■社会資本整備総合交付金とは

社会資本整備総合交付金は、地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取組に対し国が支援することにより、交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化及び国土の保全と開発など図ることを目的としている。

上記の目的を達成するため地方公共団体等が作成した**社会資本総合整備計画**に基づく事業または事務の実施に要する経費に充てるため、**国が交付する交付金**をいう。※社会資本整備総合交付金交付要綱・事務連絡等を参照して作成

港湾に関連する交付対象事業

【港湾事業】・・・港湾施設の建設又は改良に関する事業　及びこれらの事業以外の事業で港湾その他の海域における汚濁水の浄化その他の公害防止のために行う事業

【海岸事業】・・・海岸保全施設の新設又は改良に関する事業及び海岸環境の整備に関する事業

■名古屋港の整備計画（令和2～６年度）

	【港湾事業】	【海岸事業】	【海岸事業】
計画名	名古屋港の **物流機能の維持・強化、** **快適な港湾空間**の形成 （防災・安全）	名古屋港における **緊急防災対策**の推進 （防災・安全）	名古屋港における **総合的な高潮対策**の推進 （防災・安全）
内容	・港湾施設の改良	・海岸保全施設の改良 （重点計画）	・海岸保全施設の改良 （通常計画）

【港湾事業】名古屋港の物流機能の維持・強化、快適な港湾空間の形成（防災・安全）

2.1　計画の目標、成果目標 （定量的指標）

■計画の目標

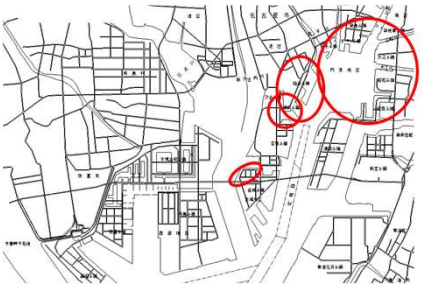
【港湾施設の改良】既存ストックの改修・改良により、**物流機能の維持・強化**を図る

■成果目標

計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 （R2当初）現況値	（R4末）中間目標値	（R6末）最終目標値
・老朽化や故障などにより使用停止した港湾施設数を計画期間中0件（令和６年まで）とする。			
【港湾施設の改良】老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設数	0件	0件	0件
・緊急輸送道路上に位置する橋梁の改良率の向上を図る			
【緊急輸送道路上の橋梁】改良率の目標値 港内の緊急輸送道路上に位置する７橋梁のうち、現在改良済であるのは５橋梁であるが、令和６年度末までに６橋梁を改良済にする。（5/7＝0.714、6/7＝0.857）	71%	71%	86%

2.2　事業内容と進捗状況

港湾施設の改良（電気防食、鋼板補強等）



緊急輸送道路上の橋梁（主桁の補強等）

	事業箇所	事業内容	事業実施期間	令和４年度末までの進捗
金城地区	金城ふ頭	岸壁改良	R2～R3※	完了
内港地区（１）	船見ふ頭	岸壁改良	R2～R3※	完了
内港地区（２）	稲永ふ頭	岸壁改良	R2～R3※	完了
全域	潮凪ふ頭	岸壁改良	R4	完了
	北浜ふ頭	岸壁改良	R4	完了
	飛島ふ頭	岸壁改良	R4	完了
潮凪橋	潮凪橋	臨港道路（橋梁）改良（耐荷補強）	R4～R6	継続

※令和4年度より、老朽化対策を集中的・計画的に実施するため個別補助制度が創設され、本交付金事業から移行して実施している。

2.3　中間目標値の実現状況

・老朽化や故障などにより使用を停止した港湾施設数

中間目標値（R4末）	0　件	目標値と実績値に差が出た要因	―
中間実績値（R4末）	**0　件**		

・緊急輸送道路上に位置する橋梁の改良率の向上を図る

中間目標値（R4末）	71　%	目標値と実績値に差が出た要因	―
中間実績値（R4末）	**71　%**		

【海岸事業】名古屋港における緊急防災対策の推進（防災・安全）

3.1　計画の目標、成果目標 （定量的指標）

■計画の目標　　津波、高潮からの防護による生命・財産の安全性の確保、被災の軽減を図る。

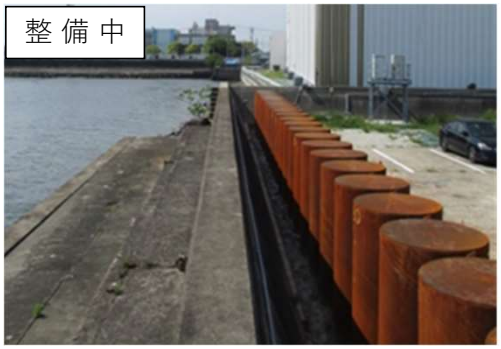
■成果目標

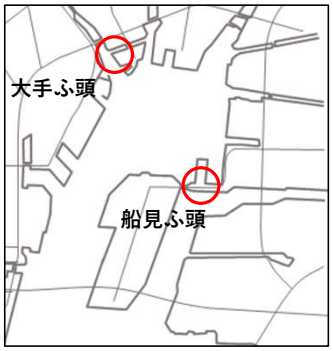
計画の成果目標（定量的指標） 定量的資料の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 （R2当初）現況値	（R4末）中間目標値	（R6末）最終目標値
・海岸保全施設の改良・築造により、背後地の浸水面積を低減させる。			
【高潮対策事業】 浸水想定浸水面積を614ha（令和2年度当初）から298ha（令和6年度）に減少させる。	614ha	538ha	298ha
・老朽化対策により海岸保全施設の機能維持を図る。			
【海岸堤防等老朽化対策緊急事業】 海岸保全施設の延長により、老朽化対策が図られる延長の割合を算出する。 進捗率（%）＝（整備実施延長）/（老朽化対策を実施する延長）	0%	100% （1地区・255m）	ー ※R4より海岸メンテナンス事業に移行

3.2　事業の内容と進捗状況

『高潮対策事業』

大手ふ頭地区（護岸改良）





『海岸堤防等老朽化対策緊急事業』

船見ふ頭地区（護岸改良）

事業名/地区名		内容	事業期間・延長	令和4年度末までの進捗
高潮対策事業	築地東ふ頭	護岸改良	R2～R4　748m	完了
	大手ふ頭・中川口 大江ふ頭	護岸改良	R2～R6　1,948m	継続
	大江川河口部	護岸築造	R2～R6　470m	継続
	築地・ガーデンふ頭	護岸改良	R2～R6　1,260m	継続
海岸堤防等老朽化対策緊急事業		老朽化対策	R2～R3　255m	完了 ※

※令和４年度より、老朽化対策を集中的・計画的に実施するため個別補助制度が創設され、本交付金事業から移行して実施している。

3.3　中間目標値の実現状況

【高潮対策事業】　海岸保全施設の改良・築造により、背後地の浸水面積を低減させる。

中間目標値（R4末）	**538ha**	目標値と実績値に差が出た要因	利用者調整に時間を要したが、概ね目標値は達成している。
中間実績値（R4末）	**540ha**		

【海岸堤防等老朽化対策緊急事業】　老朽化対策により海岸保全施設の機能維持を図る。

中間目標値（R4末）	**100%(1地区・255m)**	目標値と実績値に差が出た要因	ー （※R4より海岸メンテナンス事業に移行）
中間実績値（R4末）	**100%(1地区・255m)**		

進捗率（%）＝（整備実施延長）/（老朽化対策を実施する延長）

【海岸事業】名古屋港における総合的な高潮対策の推進（防災・安全）

4.1　計画の目標、成果目標　（定量的指標）

■計画の目標　　津波・高潮からの防護による生命・財産の安全性の確保、被災の軽減を図る。

■成果目標

計画の成果目標（定量的指標） 定量的資料の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 （R2当初） 現況値	（R4末） 中間目標値	（R6末） 最終目標値
・海岸保全施設の改良・築造により、背後地の浸水面積を低減させる。			
【高潮対策事業】 浸水想定浸水面積を48ha（令和２年度当初）から39ha（令和６年度）に減少させる。	48ha	39ha	39ha

4.2　事業の内容と進捗状況

【高潮対策事業】潮見ふ頭（護岸改良）

事業名/ 地区名	内容	事業期 間・延長	令和4年度末までの 進捗
高潮対策事業 潮見ふ頭	護岸 改良	R2～R6 3,110m	継続

4.3　中間目標値の実現状況

海岸保全施設の改良・築造により、背後地の浸水面積を低減させる。

中間目標値（R4末）	39ha	目標値と実績値に差が出た要因	―
中間実績値（R4末）	39ha		